

コスパという言葉に慣れてきたと思ったら、タイパという言葉が出てきた。コスパはコストパフォーマンスの略である。費用対効果のことである。一方、タイパはタイムパフォーマンスの略で、かけた時間に対する満足度を指す。時間対効果である。コスパの時間版である。

できるだけ短い時間で得られるものが大きい場合、タイムパフォーマンスが高いと表現する。費用重視のコスパ、時間重視のタイパ、どちらに力点を置くかということではなく、これからは2つの価値観が両立するような生活に向かひのであろう。

なぜ、このような言葉が出てくるのか。言葉は世相を反映する。スマートフォンが普及するようになり、便利にはなった。しかし、自分の意志で自由に使える時間は短くなってはいないだろうか。まとまった時間を確保するのが難しくなっているように感じる。

そこで、限られた時間に対する満足度をできるだけ大きくしたい、損をしたくない意識が若い世代を中心に広がったのかもしれない。時間を無駄にしたくない価値観が高まっているのだろうか。時間重視の価値観が、新しい生活様式に合っているのかもしれない。

このところ、ドラマや映画を倍速再生する人が増えているらしい。時間短縮を求めることは決して新しい現象ではない。これだと、ゆったり、じっくり見るというスタンスにはならないだろう。忙しいし、せかされている気分になる。それほどまでに、余裕がなくなっているのだろうか。

よく若い世代とか若者というが、もっと上の世代でも同じようなことをしている。スマホを持っているのは若者だけではない。もはや老若男女を問わず誰もが持っている時代である。ということは、生活スタイルも若者に似た近いものとなる。

なぜだか、便利になればなるほど忙しくなる。せわしくなる。もっと自由に使える自分の時間が増えてもいいはずなのに、そうはならない。パソコンやスマホに踊らされている気がしないでもない。私の場合だが、もう少し、上手に使いこなせれば状況は変わるのかもしれない。きっと、中途半端なのである。

息子が帰省すると、その度に、世の中の新しい便利なことを教えてもらえる。要するに、知らないのである。知らないばかりに損をしていることが多いらしい。だが、知らないことにはいいこともあって、損をしているという自覚がない。

パソコン一つにしても、便利な機能がたくさんあるらしい。息子に教えてもらっても、すぐに忘れる。悲しい。結局、昔ながらの一太郎人間である。今まで覚えた機能で、何とかやりくりしている。これが、意外と困らない。それほど不便でもない。

コスパは高いほうがいいと思うが、タイパはどうだろう。タイパが高いからといって満足できるのだろうか。タイパを追求していくと、辛くなりそうである。きっと、若者は違うのだろう。こちらへんが、世代の違いだろうか。

これからも、新しい言葉はどんどん出てくるだろう。その度に、ベテラン世代はついていけず、歳を感じることになる。だが、言葉が世相を反映することから冷静に考えてみると、勉強になることも多い。いつも思うのだが、新しい言葉はいったいどこから生まれるのだろうか。